

学校経営基本方針『自立貢献』夢をもち 自分で考え 判断し行動する  
 基本方針と努力事項『確かな学力』『豊かな心』『たくましい心と体』『コミュニティ・スクール』

	目標	実践内容	具体的な取組	成果と課題	自己評価 4段階	委員評価 4段階
に伸ばす 生徒の実態を踏まえ、一人一人の学力を確実	学習活動の充実	の徹底 統一した学習指導 学習規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート実施と実態に基づく授業改善</li> <li>・「2・1 チャイムの徹底」(2 分前入室・1分前着席・チャイム黙想)</li> <li>・学力クラスマッチの実施</li> <li>・学びに向かう集団づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2・1チャイムの呼びかけを、係を中心に取り組み、アンケート等からも授業への意欲が高まっている。</li> <li>● 学年によっては、授業に落ち着いた雰囲気で取り組むことが出来ない場面があった。</li> </ul>	2.4	2.9
	教師の授業力の向上	校内研究授業の実施 (全員の研究授業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の視点を活かした指導</li> <li>・研究授業による日々の授業の改善(授業研究会の充実)</li> <li>・「ひなたの学び」の実現(知識構成型ジグソー法・ICT機器の活用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全員が研究授業を実施し、ICTを活用した授業や協調学習について実践することができた。</li> <li>● 課題設定の特別支援教育及び協働的な学び(協調学習)を更に充実させる必要がある。</li> </ul>	3.0	3.3
る 思いやりや感動する心をもった生徒を育成す	豊かな体験活動の充実	学校外活動との連携 キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に将来を考える場の設定(「子どもたちに伝えたいこと」やよのなか教室、高校出前授業、金融教育など)</li> <li>・「ひなたの場」の実施</li> <li>・生徒が中心となって活動する場の設定(生徒会活動等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 将来の職業や自分の生き方にに関する意識を高めることができた。(特に1, 2年生)</li> <li>● キャリア教育については、キャリアパスポートの有効利用など事前指導や事後の振り返り・気付きを充実させ、次の学年につなげる工夫が必要である。</li> </ul>	3.1	3.5
	心の教育の充実	自己肯定感の育成 規範意識の確立と自己肯定感の育成 望ましい人間関係づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びに向かう集団づくり</li> <li>・性の多様性を認める講演会と職員研修の実施</li> <li>・学校生活アンケートへの対応</li> <li>・教職員間の情報共有</li> <li>・生徒が中心となって活動する場の設定(生徒会活動等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 協力・思いやりの心や仲間を大切にしようとする心が育っている。</li> <li>○ 行事に「参加してよかった」「頑張ってよかった」という感想が増えた。</li> <li>● 学年によっては規範意識が低く、授業を受ける雰囲気を乱す行為が見られる。</li> </ul>	3.0	3.3
を身に付けさせる たくましく生きるために健康や体力	健康安全教育の推進	生命・安全を大切にする指導の充実 生活リズムの確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の充実</li> <li>・部活動生集会の実施</li> <li>・インターネットやSNSに関する情報モラル教室の実施</li> <li>・「命を想う」講演会や「教育の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 部活動キャプテン会を実施し、各部の課題を部活動集会で共有した。</li> <li>○ 保護者と合同で学校保健委員会を2回実施し、いのちの教育・健康安全教育に取り組んだ。</li> <li>● 給食指導の継続指導が必要である。</li> </ul>	2.9	3.1
	備教育環境の整備	実学校の充実 特別支援教育 設備の充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の視点からの授業改善や設備の充実</li> <li>・通級指導教室の活用</li> <li>・安全点検の実施と破損箇所等の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別支援教育に関する研修において、具体的な支援の手立てを各学年ごとに検討した。</li> <li>● 清掃に取り組む姿勢にバラツキがあり、指導を充実する必要がある。</li> </ul>	3.0	3.0
進する 家庭・地域と連携し、開かれた学校づくりを推進する	学校開放の促進	携家庭・地域との連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動の充実(学校行事の協力、ミニバレー大会・バザーの実施)</li> <li>・フリー参観週間の実施</li> <li>・PTAあいさつ運動の実施</li> <li>・ホームページの充実と学校だよりの発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 駐車場係など学校行事の協力ができ、教職員の負担減につながった。</li> <li>○ 学校の取組をホームページや学校だよりに載せ、各家庭に周知した。</li> <li>● フリー参観の来校者が少なかった。地域の方に参観していただく機会を増やしたい。</li> </ul>	3.0	3.1
	地域連携事業の創出	学校運営協議会の充実 学校支援ボランティアの積極的な活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延岡はげまし隊との連携及び内容の充実</li> <li>・学校運営協議会メンバーによる授業参観や学校行事参観</li> <li>・あいさつ運動の実施</li> <li>・東海地区青少協との協働(研修大会や再発見ウォーク等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習支援(数学)や見守り活動(水泳、調理実習他)など充実した活動ができた。</li> <li>○ 生徒会メンバーが東海地区青少協の活動に参加し、運営にも関わるなど地域貢献できた。</li> </ul>	3.0	3.3